

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	牛小屋高原公園施設		
所在地	山県郡安芸太田町横川		
設置目的	すぐれた風景地である自然公園の利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	管理棟、トイレ、ケビン、オートキャンプ場、フリーサイト等		
指定管理者	6期目	R5.4.1～R10.3.31	(株) 恐羅漢
	5期目	H30.4.1～R5.3.31	(株) 恐羅漢
	4期目	H25.4.1～H30.3.31	(株) 恐羅漢
	3期目	H23.11.1～H25.3.31	(株) 恐羅漢
	2期目	H21.4.1～H23.10.31	三段峡観光 (株)
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	三段峡観光 (株)

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数 (有料施設)	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	6期	R6	4,200人	3,688人	△791人	△512人 (87.8%)
		R5	4,200人	4,479人	35人	279人 (106.6%)
	5期平均 H30～R4		3,840人	4,444人	929人	604人 (115.7%)
	4期平均 H25～H29		2,000人	3,515人	1,416人	1,515人 (175.8%)
	2～3期平均 (2期 H21.4～H23.10) (3期 H23.11～H25.3)		2,000人	2,099人	168人	99人 (105.5%)
	1期平均 H18～H20		—	1,931人	398人	—
	H17(導入前)		—	1,533人	—	—
増減理由	ハイシーズンである7月及び9月の休日に荒天が重なったことにより、入場者数が減少した。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】		【対象・人数】	
	アンケートの実施		利用者 32 件	
	【主な意見】		【その対応状況】	
	見通しの確保や虫対策のため、草刈をしてほしい。		草刈りの回数を増やし、場内の景観向上や虫対策に努めた。	

4 県の業務点検等の状況

項 目		実績	備 考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務実績報告書
	日報	—	緊急連絡を要する事例の発生なし
管理運営会議（随時）		【特記事項等】 各施設・設備の老朽化対策	
		【指定管理者の意見】 利用者増に向け、利便性の向上や安全で快適に利用できるよう施設の適切な修繕を行う必要がある。	
現地調査（3月）		【県の対応】 指定管理者と連携しながら、計画的な修繕に向けた調査を実施した。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	6 期	R6	12,985	255		6 期	R6	4,746	△577
県委託料 (決算額)		R5	12,730	3,488	料金収入 (決算額)		R5	5,323	278
	5 期平均 H30～R4		9,242	1,324		5 期平均 H30～R4		5,045	2,107
	4 期平均 H25～H29		7,918	126		4 期平均 H25～H29		2,938	1,671
	2、3 期平均 H21～H24 (2 期 H21.4～H23.10) (3 期 H23.11～H25.3)		7,792	△1,955		2、3 期平均 H21～H24 (2 期 H21.4～H23.10) (3 期 H23.11～H25.3)		1,267	△106
	1 期平均 H18～H20		9,747	△929		1 期平均 H18～H20		1,373	113
	H17 (導入前)		10,676	—		H17 (導入前)		1,260	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R6 決算額	R5 決算額	前年度差	主な増減理由等
委託事業	収入	県委託料	12,985	12,730	255
		料金収入 (※1)	4,746	5,323	△577
		その他収入	162	147	15
		計(A)	17,893	18,200	△307
	支出	人件費	2,447	3,040	△593
		光熱水費	12,512	12,047	465
		設備等保守点検費	656	414	242
		清掃・警備費等	13	26	△13
		施設維持修繕費	1,132	1,158	△26
		事務局費	633	576	57
		その他	0	0	0
		計(B)	17,393	17,261	132
	収支①(A-B)		500	939	△439
自主事業 (※2)	収入(C)		4,153	3,797	356
	支出(D)		3,818	4,375	△557
	収支②(C-D)		335	△578	913
合計収支 (①+②)		835	361	474	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業
令和5年度報告までは、自主事業の収支は委託事業に含めていたが、令和6年度報告から分けて記載することとした。

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	オートキャンプ場などの施設運営の他、地元食材をつかったピザづくり体験やアマゴつかみ取りなどのイベントを継続して実施した。	人気のあるキャンプ場運営に加え、自然を活かしたイベントの実施・計画を行い、利用者ニーズに対応している。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	県と連携しながら施設の維持修繕を実施した。	利用者が安全で快適に施設を利用できるように取り組んでいる。
	○業務の実施による、施設の利用促進	引き続き、安芸太田町や地元企業との連携を図り、各ホームページやSNSを活用して情報発信を行った。とりわけインスタグラムの発信頻度を上げ、キャンプ場利用促進に努めた。	地元と連携した広報活動に取り組み、利用促進に努めている。更新頻度を高めるなど、積極的な活用状況が認められる。
	○施設の維持管理	草刈りの回数を増やし、場内の景観向上に努めた。老朽化した柵や側溝の交換を行い、利用者の安全確保に努めた。	公園の安全対策や魅力を向上させ、快適な利用環境の提供に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	予約状況に合わせ、計画的に職員配置を行った。	効率的な業務運営に努めており、社員の適正配置を行っている。
	○効率的な業務運営	スケジュールアプリを利用したシフト調整を行うなど、業務の効率化を図るとともに、新規採用者の教育に努めた。	引き続き、効率的な業務運営に努める必要がある。
	○収支の適正	前年度に引き続き、黒字を確保した。	今後も利用促進の運営を行うとともに、収支の適正化を図りながら、黒字運営を継続する必要がある。
総 括		利用者ニーズを把握しすぐに対応することで固定客の継続した利用に繋がった。また、新たな利用者呼び込むためのイベントや効果的な情報発信を行った。	魅力的な施設となるよう、利用者ニーズへの対応や新たな取組を行うことで利用者の満足度を高めていることは評価できる。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和7年度)	利用者に好評なイベントを引き続き実施するとともに、新規のイベントを企画し、更なるリピーターの獲得を目指す。	施設の魅力を高めるための新たな企画やイベントの実施について支援する。
中期的な対応	老朽化した施設の維持・修繕について、点検等安全確保に努めるとともに、県と協議しながら計画的な修繕を行う。	指定管理者と連携し、優先度の高い箇所から計画的に施設の維持・修繕に対応する。